



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成31年1月7日

第13号

発行 豊田中学校

## 3学期始業式校長式辞

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

皆さんが元気に新年を迎え、3学期がスタートできることを嬉しく思います。

先ほど、各学年の代表生徒から、新年の具体的な抱負が語られました。そこには、新たな気持ちで志・目標を定め、実現に向けての強い意志が感じられました。先生方は、生徒の皆さん一人一人の志・目標の実現に向けて応援していきますので、安心して思いっきり挑戦してみましよう。

さて、今年の干支（えと）は己亥（つちのと・い）、12支でいうと「亥（い）」です。

亥年、猪（イノシシ）は猪突猛進で突き進むイメージを持ちやすいのですが、実際の意味を調べてみると、

- ・新たな生命が宿る年 植物でしたら種の中に閉じ込められている状態
  - ・イノシシがどんな相手にも向かっていく性格から、勇気や冒険の年
  - ・イノシシの肉は万病に効くという言い伝えから、「無病息災」の年
- などがありました。

皆さんにとっても、そして豊田中にとっても、無病息災、何事もない無事な1年となり、1人1人が勇気をもって大きく前進できる、そんな年になることを期待したいと思います。



さて、年頭に当たり、私が考えたことを今日は話したいと思います。

本校の「志」の教育は、先生方や生徒のみなさんのおかげで、ここ数年で大きな成果を上げることができています。1人1人が志をもち、それを胸を張って語る姿は、いつ見てもすばらしいと思っています。対外的にも、他県の先生方や大学の先生などが、本校の教育のことを聞きに来てくれています。2月には、全国の先生方が集まる会で報告することにもなっています。この本校のよさを今年もさらに伸ばして行ってほしいと願っています。

もう一つ忘れてはいけないことがあります。それは本校学校教育目標「志をもち、たくましく生き抜く生徒の育成」の後半の「たくましさ」です。先ほど、今年、亥年が「勇気と冒険の年」と話しましたが、まさにこの「たくましさ」が問われるのではないかと考えました。

皆さん、「たくましさ」って何でしょう？あるいは、どんな状態のことを言うのでしょうか？加えて、今のあなたの「たくましさ」を評価するとどんな段階でしょう？辞書を引いてみると、

- 1 からだが頑丈で、いかにも強そうに見える。
- 2 意志が強く、多少のことではくじけない。
- 3 意気や勢いが満ちあふれている。

とありました。

この「たくましさ」についての問いは、皆さんに考えてほしいなと思っています。自分で考えて日記に書いたり、友だちと話して先生に伝えたりしてください。そういった対話の中から、豊田中の考える「たくましさ」がみんなでも共有されて、その実現に向けて前に進むことが、本校の新たな一歩になっていくのではないかと私は考えています。

新年の話ばかりになってしまいましたが、3学期のスタート、平成30年度のしめくくりの学期の始まりでもあります。各学年のしめくくりとともに、新学年、進級への準備期間としても重要な期間です。

「志」に加えて「たくましさ」。このことを意識しながら、3学期、そして今年1年が、皆さんにとって、豊田中にとって、大きな飛躍の年となることを祈っています。



## ～あけましておめでとうございます～

16日間の冬季休業はいかがでしたか。この年末年始は天候に大変恵まれました。ゆったりと日本文化を満喫することが出来たでしょう。

さて、本日は、学校の暦における元日、始業式でした。式の中での代表生徒の言葉のように、生徒それぞれが、新たな年への決意や抱負を確認出来たことと思います。平成31年が皆様にとって良い年になりますように祈念するとともに、学校教育への引き続きの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## ～秋冬の部活動の成果～

各部とも2年生が中心となって、部活動の新体制がスタートしています。夏以降、様々な大会やコンクールを通して力をつけ成果を上げてきています。2学期末には多くの生徒が全校生徒の前で表彰・称揚されました。そんな中でこの冬、地区の代表として二つの部が上位大会に臨んでいます。

女子ソフトテニス部は、年末に三重県で行われた東海大会に臨み、予選を1位通過、決勝トーナメントに進出しました。結果、見事3位となり、3月に開催される全国大会への出場権を得ています。

男子バレーボール部は、静岡県西部中学校新人バレーボール選手権大会を勝ち抜き、県大会への出場を決めています。県大会は、本校を会場に今週末開催されます。

練習の成果を発揮し、良い経験になると良いなと思います。生徒の皆さんの健闘を祈ります。声援を送りましょう。



## 【一体校開校に向けた通学区・通学路について】

平成33年度開校予定で準備をすすめている中で、通学の安全の視点があります。現在の想定では、西門を利用する児童・生徒数が400名を超えます。（現在の約3倍）歩道や道路の幅、自動車の交通量、信号の有無など、いろいろな情報を勘案し、できる限りの整備をすすめていきます。その中の一案として、通学時間帯の交通規制があります。すでに規制がある学校の北側に加え、西側の一部を、朝の時間帯に自動車の進入を規制する方法です。今後どのような形が可能なのか、地域の皆様にできるだけ迷惑をかけない方法を考えていきたいと思っています。また、通学区の再編も新年から行われます。小・中学校の通学路のすりあわせと併せて、対応を検討していきます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

保護者や地域の皆様の間でも話題にいただき、御意見をお届けください。よろしくお願いいたします。